

各 位

2004年 2月 4日
杏林製薬株式会社
東京都千代田区神田駿河台2-5
(証券コード4560 東証一部)

能代工場への移転に伴う退職者の退職優遇措置について

杏林製薬株式会社(社長 荻原郁夫)は、2006年に能代工場(秋田県能代市)にFDA(米国食品医薬品局)のGMP基準に適合する国際水準の新製剤工場を建設し、大量または技術的に高度な製品を効率よく生産する新生産体制の構築を目指しております。

これに合せて、現在錠剤・カプセル剤等の野木工場(栃木県下都賀郡野木町)の生産を新工場に移転およびアウトソーシングし、2006年3月に閉鎖いたします。(2003年8月25日発表)

これに伴い、野木工場に勤務する社員につきましては、原則的に配置転換を予定しておりましたが、全社員の諸事情を勘案し、退職の希望者に対しては優遇措置を実施することにいたしました。

退職希望者数など、具体的な内容は以下の通りです。

1. 実施内容等

- (1) 退職希望者数 : 84名
- (2) 退職日 : 2004年3月31日
- (2) 退職金特別加算総額 : 約10億円

2. 当期損益に与える影響

今回の退職金特別加算総額は、2004年3月期決算に特別損失として計上いたします。

以上

<参考：当社の生産体制>

2003年3月31日現在

工場名	所在地	主な生産品目	土地面積 (m^2)	従業員 (人)	稼働開始年
能代工場	秋田県	バルク	106,999	26	1995年
岡谷工場	長野県	細粒剤、シロップ剤など	21,883	120	1947年
野木工場	栃木県	内服固形剤、点眼剤など	80,283	193	1967年

この件に関するお問い合わせ
杏林製薬株式会社 企画室
TEL: 03-3293-3414
FAX: 03-3293-3450